)の内地人協
友に
綴いて
像たる
楽北を
搬ひ
法文
系
半
耐人
展
徒
も
家
た
さ
き
に
臨
じ
特

の問題となり、敵國は鯨液の如く押し寄せ源然として騙民の本管範囲によって選し

の期待を器せられてゐたのであつたが、見事軍賈を果し本分を黙して一蹴戦別参加 *
恵た星國二千五百萬年廢民衆の明日の指前と運命を続けてをり、志國の成果に多大 への大道に暴退したのである。このとき志証の恩生に寄せられた年間の威胁は感國 くも。職力でし止まれるの職験を構り立たせた、この半島の漢を立つ歌劇のうちに

恵生の赤心に跟って頼るまた霞かい心思かにようて赤颜者の爺禰に富っては高遠鏡赤頭単純は最後の怨婆を置う得る鯔・椒蚕場。に鳴ぶしく立つのである、鶫梨なる

殿民志願によって十一日から廿日に買って関れの絵脈身間緻査受極の日を待ち

あす學徒晴れの檢査

全鮮六が所

一齊に開始

征かうノ榮光の庭。

といいのでは、これに過ぎたるも

種所在地一概に親レく『振武器』と名稱を匿る宮の最も集みな

御座所に東條龍窟陸軍大臣並に山田数官総監を召させられ、

御窓翼は大元帥陛下御閲兵

勝びつく御親関あらせられた

続する生体際に長くも御郷手を遊めさせられ、歌然として極け

のれ親衛順以上層が、軽別語

にしく同二時十分回校強領。三時九分宮城に選挙あらせられた

振武臺」と御命名

れた。かくて御少蔵の御のち路真率急種に天機族のほか御

せられ次いで無用職選を天賦の御の方面二時九分便殿に入ら

こゝに威酸の準備なつた関れの検索が日十一日を到へることなったのである るとどなり、また内地在観光風徒の上にも認める便宜を供與する方既は関てられ、

きを期し、難しく家庭、環境高の異常を聴くとともに、

古がにても彫図未践なる振舞あると老は今日幸で現し來り、搬ひ來フた難く斃光も

尼丸切の功を一番に触くもので傳ひを予職に胎し汚名は一個人に止来らぬ語歌

の認明過行として強くの異はないが、まま学過二十五百萬級語風機を引めける傾待の認明というで強くと観音は引起接触して機能なら結構した實を襲するとであ

を握つて突入する火を助く突戦場に出で征げ、われ等は戦呼の風と緊電の消手をも

敵失一

そして限りなき軟膏をもつて島軍の一貫をる着礼の繁光を蹴ら得て歌瞰に白及

整國の熱情燃えさかる半島人志順風促躍君、堂々と征

た自療大路機七十二億の意い機構と

日側の被害は軽微、日本側には微

蔣、バツテン會見

四郎

ロのトンに劉し硫酸を加へたが例

機計四十

北部佛印に來識、ハノイ西北世キ年後七時世分より一時間にわたり |九日同盟||在支米空軍穴機は九日 育教の

させられて東殻庭に出御、かく

別順に次いで航頻順及び頻順の混合による紅白試合、最後に

部型少佐の観念によって配帛の集合も翻かな第一

陛下には個子器の側のち午後一段五分再び大翻堂に田御、御

の召され午前十時五十分學校

門、同士時廿分回夜に崇仰、彼

國際にて午前九時骨分官以御出

從長以下供煙の略式自動車

階頭、松平宮相、木戸内府、

ら脱岩起され、アツツ層に於いて玉碎むる山

さてはガダルカナル島に勇往歌節せる若林中隊長の豊後の音楽

歐原を倒爛用、運沼特從武官長

長牧野四郎中崎の御先縁にてこ

事項につき屋間しつ

へ復習をする

」との命令により、

専門的な た、プソいて高端に必定の電氣工器に関する側面投送無級電話

開校式に属り「足ノ電腸ハ土宮ノ棚否ニ由ル」との優勝なる間

釜山檢查場

十二日 全層光道 十四日 全層開資 巴湾南道

島副熊心に天戦遊ばされ、次いで大戦軍内別撃の作弊島天戦時後割が生徒の明晰な答解と相俟つて夏施されたが、間下には外

楽器公殿下に御賀面、つまいて

約山魯潔縣豆、牧野夜是以下多 東條棄獨陸相、山田敷育總監、

箸に無關を願はり、ついで

影館館の脳本衆治数説がそれで一節んで御下間に整容

などを御郷質、梭長島に國際文展協館の檜田観久教授、物理

の信念を超ひ來つたのであります、この陳統結神はさきに て市ケ谷台上六十條年の傳統を結成し空殿森思島麓に南じ

貯蓄總攻

加へ、その陣地線を弱化した と競扱してあるといはれる

出路を守備する意歴里に攻戦を、北部ビルマでは日本軍はラド

機

似を屠る

再七十

シントン茨電=國軍省航空を管ノ

【東京電話】異くも大光帥陛下には時局惑々重大なるの沙、

側所の期間でもつて九日埼玉殿下朝霞の座軍豫科士官學校に初

日の光祭に沿し、今こそ一死もつて農脈の萬分の一に親い愛り

練賞の上に寄せさせ約ふ大側心のほどに恐怖威胁申上げてある

教育總監謹話

大東田龍心断もつて聖禮を安んじ奉る僧僧と決意をさらに獲問

しては本日朝္原原の親しく離離を進めさせ始ひ、新教功なれ

十七日意大津、富憲、勝興、慶應、無城、南陽、會塚、領域、

7年、景高、瀬南 1 18年、海本、地西、明

全州檢查場

時下内外の領政部領めて御多職の折柄、今回時に陸軍

は世胎うた

この日曜下には四里御事場

しむ機能の教育状況を関じく番

米、女子百萬を徽用

米陸軍に新戦闘機

を顧用することになった。しかし

室明した。人的資제不足問題を除

報局は近く療別に情報機関を設置

カーチン首相病む

そのため十日の复事會職は遅相ブ

オードが首相代理として意識を主

【リスポン八日同盟】アンカラ來

トルコ大統領歸國

わたる歯談を終へて心日本

トパツテン軍のピルマ医次作職をはカイロ電談を契機としてマウン

【イスタンプール八日同盟】英國

パツテン自自

日軍重壓加ふ

直ちに人民共和

第二イノニュートルコ大統領はす一章版を開催、重要膨脹を発

永興、西原、定選、粉

富寒、南海、山海。大邱

あるが、さる五日敢行された日本

動物にピルマの戦略爆撃を狙つて、戦人に呼號、在印空軍を動員して

航空部隊のカルカツタ附近機関に

も明瞭に見られるやうに繋ずべき

家顧助員法を發動して、刑部のつてゐる。これを担む時には國 れることを驚へる時、贖れて志 に對しても同様の感覚が酸せら ことが考へられてゐるが、志願いて開催された しつゝも依査を受けなかつた者 動職被査場へ一番人が残く窓 の日間暫に先立ち合代表・腰 型に対立を開発に参邦・島軍の を表・際び四部軍司令官、加山 を表・際び四部軍司令官、加山 を表・際び四部軍司令官、加山 を表・第び四部軍司令官、加山 を表・第び四部軍司令官、加山 を表・第び四部軍司令官、加山 を表・第四部軍司令官、加山 を表・第四部軍司令官、加山 臣、南代家古家総務職次長を中心 衰竭和會中央本部委員呂文敬節大 かくて午前十一時幹事役の潮州代 會議は九日臨岡市博多ホテルにお

全鮮銓衡檢查日程 半島の男の子の関れの一生を決定する概査日に、そして厳査場に臨むに、いさ 意場は大艦次の通りである

十六日 法愿事門、水原高區、十六日 蓍成專門、高等商祭

咸興檢查場

【南太平洋〇〇基地八日同盟】去 | 果は次の卯し

ニューギニマ歌喜

いて一瞬に開始されるが日割と破り 春日割と出頭心得は顕報され、 盤節板在については既に朝鮮軍に 京城長谷川町商工会議所会管鑑を向入場すら出記十一日、東大門、安城十二日、銀路・博東、西大門、安城十三日、銀路・博東、西大門、十三日、銀路・博東、西大門、 京城第一檢查場 職仁、金剛、在龍、登場、棚川 李潔 十五日 工原道、忠北第(像城 場川、報恩、沃川)

分。利用、超点、加宁、稳宁、 中四日 潮山、强烈、路级、路级、场 京城第二檢查場

するところなく、被査に限じ得のであるから、その期何等心配 十一、十二、十三日 年前八時二十分出演 東城龍山陸軍修行祉

る心安さを先づ癖をなければな 戦の第二が戦場へ駆からと とも、一つのの概へをして限ら 祖先の蘇迦にそれを報告するこ **覚悟に至っては、こゝに一々架** ら、これを扱心より実践を以て 夜直であるから、一条一門の着 然々たる価値と氣臓に徹すべき ことが大切である。斯る光樂の ・量節の一貫に加はらんとする

でし、関れの志願をして暑國日

悪症としては、光風器月の心便

際事件の総計約三千七百名に

られ、今や寛全の機能を整へて、

教育を持つ。はから

とである。至つて志願をしたか

使の監察を受けることによって うるにその手腕さであって、

そこに一身一家を超越せる風間 もあつたと思ばれるが、然もよ 観を開路せざるを得なかつを指

及び父兄の意思等を十分に修 る際戦ある上級将校をこれにあ つて、嬰校政練服務等に概算な る検査の行はれることは當然で

く射を以て高額に機じ

して、原陣への志順を完了した

月廿日であつた。殿内

秋新、殿登員長に中井少俊、秦 着 に扱いて 行はれることにな **國軍發展高國吳國吳國吳國明後**

松田、平郷、谷林、松田の六ケ

いるまでもなく今次半期人事

うればならぬことは、心臓は要 きである。といころに注意しな 職軍の一員たるの祭巻を始ふべ あつて、斯る上は舞らに検査を 西つ年間人騒徒の熟版は、前記

株石の全価級流は十二月十一

ち得るばかりである。 その以よって、最後の禁犯を履 を抱いて、検査場に難せ過ずる

の如き成果となって現れたので

る盛徒の厳じて教育せざる所で

冷脳なる法廷であるかの如く歌る。それにしても、鰹衝倒在を

見することは問題つてゐる。も

より身調その他に載て酸機な

あることは質を挟ため。

志順學佐の中には、**種**々なる

あるが、特に口頭は関に心を配

學徒志願兵と銓衡檢查

国軍場合の公布され、幸福

努めることなど、概査場に臨む疾に概在時間に遅れないやうに

延慶 第7 十八日…十七日 黄海道十八日…十七日 黄海道 午館八時三十分出國 平壤檢査場

十九日 恵化専門、協大 十九日 恵化専門、協大 大郷領科 れた関距理念に基をアジャナ版の 成類公立國民學校学師八時半十一日。成類、風南、定平、十二日、元山府、成類、風南十二日、元山府、成旗、定平、七二日、元山府、成旗、定平、七二日、元山府、成旗、定平、 十三日 文川、拱原、北齊元山 運興動亞

主腦者會議開く 「厳敬多個附近地區における終合職

を闘る日蘭郷三國興龍運動主脳者一席に各國際高等计議名がそれと の頭い興起運動電腦具態策の確立一段関新民自輸副會長着版。その後 本語具、於對與語解本語集務語具 司會看 游光网络和曾 中央本部管

細なる最告があつて感散に入り 液射注哆鐘

人東亞共同宣舊を具體化

原施務部長立つて實證開催の日 10000円的を述べ、松井朗査官

第一日 機用質勵のため九日趣用、開露七郎氏(京城新炭毒務)

【リスポン八日同国】RRO放送 によれば降が石は過酸カイロ會験 から重要に断避の途、印度に於て 反腐軸東南アジャ軍司令官マウン トパッテンと協議したといはれる

ケ月間におけるニューギニャ闘マ る十月廿日から十一月廿日まで一

ダン南方約六十五キロ、ラム河左

數 振撃大阪九〇七二八番草高松市北線町二四番地 學鍊 方』の新幾足

小泉、英三窓(さず朝王詩歌評等でござの経軍省維護維新朝王詩歌評等でにざる

ペノイで銃撃 「ハノイ

月號、速報後衛衛自僚經過學等。與聯盟與 實施 古國緣に酬いられで,顯非由朝子 實施 古國緣に酬いられで,顯非由朝子 實施 古河 騎 化 鞭 打 つ!田中 + 由 重氮 文文の新研究…… H 晉安伽 即 是 漢文文の新研究…… H 晉安伽 明 中 - 道文文の新研究…… H 晉安伽 明 中 - 道文文の新研究…… H 晉安伽 明 中 - 道文文の新研究。 一 明 中 - 由 明 東 - 一 一 明 中 - 由 東 一 一 明 -

黀

歌を巧に帰促してこれを觀察し空

一関約一百ヶ所、大小町間に

の場で

【ハノイ九日同盟】在夏米空軍P

佛印侵入米機擊退

一年の戦果

響頭級壁舎で開出に建攻して破機

に選してゐる。

がら本年十二月八日までの一ケ年

この中には本年十月前期間は後 単元 日本の中には本年十月前期間は後 単元 日本の

の顧りを饑跎たらしめる一方、異一る逍密炎上、鬱沈原など七

於四四〇一番 機械 製作資料 **社**

資業五種二〇数 數督根武

皮御熊軍司令船は八日の公報で以

リー來電によれば東南アジャ

機線を自兵策が提明されてある で権職、日本両辜値策隊の間に

壁の守りを敵を固めてゐる、ニュを防衛する重極軍に重勝を加への

ビルマ関塔でも日本軍はラド公路

黎際と反覆軸軍との間以日毎 アラカン地国においては日本

齒車設計便覽

ち

6日本軍は積極的な警戒活動を挺

購遠 雷 **瞬**閑中忙談 璃 三三町塚大川石小都京東番五九〇九六一京東谷振

職夢た 古 伊瑠璃の研究

東京 では、 東京

版 重 等 利 近 型高前知前技 二 時まるに本土参ア 中国版画館 第 報子とかるカス 3 四本くく例の 課人 1 工 通数の第一次 4 第一本かるのは 5 所数のの設定的は こした版とに 1 工 通数の解析 1 1

の緒間調を沢田し、飽くまでも實際に、はすば及びわらぬ草に翻する観点の整々近日出來の漢意となった。樂

受驗界社

幡船史縣 著 壽岳文章裝幀

成 房

世間海軍航空隊飛行及〇〇少佐隊

振音東京三六六一〇

考へ方研究社

動物学の結大類化せられば電地の遊戲を戦力化することに依つて、いることが主なる原因でありませうか、睦日の經過と共に日本の歌

敵は太平洋作戦に重點

戦意の昂揚と増産 大東亞戦第三年の發足に當りて これ最後の勝利の鍵



するのでありますが、私は商々とれから解の額決策に入り渡らの鑑 を願の年であったいなさとは既に至関記の部分繁酷してある所と信 の表生なものがあります。今時完立とは既未衆の種が致の年、歴 本日然に大東地配事二間年を追り、第三年を迎ふるに罹り威廉更 かれると生態に放送した、放送要配左の通り「総政=放送中の板組事司合官」 應して戦闘の大概と頑張な敵米英の無反攻も必勝不敗のわれ等の前には多に推 時世分から舒服においてマイクを通じ。大東記記景第三年の鎌尾に置りてくど 一挙国として扱くべからそる器力となることを現れて居るのでありま

しば重ねてをりますが、近米相互の間にもまた英米勢フピエート間 数の敵対変なるものを位置し近に對する必勝不敗の信念を並べてみ とも容易に一致し鰥さどれたしの立場がありまして、間はは疑ら と行はれたる大東部盤静脈に握々たる大東部質割に比較致します 種の皮質用にも感しき順後の問題などを採り上げてお茶を凝してゐ るといるやうな現状であります、これを先戦東京に於て大成功の細 短編輯図側の詩脳音は場所を狭へ人を代へ大がかりの意識をしば 継近に於ては略めに郷女子を飾用し、織り刺繍工場のみならず而歌目したからであります。人間強調に載ては各國共に北の他党を無へ なる理由の一であります。肌ち人的重線も物的重線も多く最大限して其の限度に難し其後於患なる増加や開業れないと表なごとも特力 す、間又被等の護権する知常品の大類生産も本年宏乃至明年半を以 一般の著体敗戦による大造器を知るべくもないのですが、著し舞った にも採用して、据るのであります。、因に申しますが、之に比較致し 動がせてゐるのであります ち大概なことになるといった様な様々の事情も文米圏として決戦を 申すことが出來るのであります。その他役等の國内事情としては默 展ストライギが起るとか指索を極めて小田に發表してゐるため、 寒ずならば、日本は空歌図中で、最も人門意識に厳密ある國である

凡ゆる手段で對日及攻

般會計豫算概算

ふの閣議に上程

がく本月中に帰田県 原局長以下 図

ので之が状況間察督剛のため次の より着々強期の成果を収めてある

際) 格舒朗和川拉朗 (黃龍) 殿 按師 (不止) 耕地縣路技師 (平 院) 原教師是 (全南) 耕地縣将館

那名地の領域に輸入せられ、やがて大東胆の名地に活躍するとこなっ

最も放映とする所であります。大震は半島のみならず内地、繊洲、支

をデーて一

既と事業の進捗を見つくあり

や一大國民迎動として登鮮的に胜一

は、保管が各道に出版するをとなった。

肥料の需給調整

各道肥料主任官打合

のだっと政府に限つてがいつたり、文権外派派の未國民は影く郷的 日は蛇國の所形に親つて四路一國を目標として歐洲第一主義を採る 水めんとするのには確に管胃し得べき理由があるのであります。 に確認ことを整理してあると報告して政府の非を鳴らした確認もあ のであります。そこで無限の餘り米國は大平洋方面の作献に賈弘 **とより明瞭なる如く整戦の忠誠をる原都は明らかに天下に表明せら** であります。これは開戚以來鐵二年、漸く反攻の整備の完成したと とりて、 動物なる反攻を練返し器 | 無二突散を求めんとして匿るの らいして居りますし、一寸精強をすぐ勢らせると云ふ見込が立たん 3 知々容易ではありません、伊太利バルカン方面も福祉側ががつ 刀骸側の人的、物的意識の消耗を踊りつく、動後の大政獣を戦争し (実際に立て織り持久作職に出て巧に内職作歌の妙味を競弾して ことは米國の奥籍が許さないのであります。一方្勝以合うや戦闘の **を動き、現に四周太平往前に中部太平洋方間に於て東大なる指揮を** 戦ずる所に依れば、米國内に於ては今更で残々は何のために歌 一路るのでおり求す。ソ戦の主張に輸従して第二戦級を組成すると 数米関連配法決主能を採り、今明年を以て総反政に依り決議を る具合で米閣たるもの大いにあわてざるを得ないのでありま 機、置水臓を以て交通域を興動し、成は裏地を破壊し、進んで日本本期せらる」であり至せら、又此の間太平洋上又は支卵方面より飛行 台領地とは連絡を測断し、致命問打魔を與へることが出來る、又飛 線に離れないのでありまして、彼等の簡単する像の優勢を得み、 る、際に日本は開戦以來多數の耐輸を喪失して匿るから、形式なる 水蛭温泉を取する等大に武力戦以外の欧路駅に於ても攻勢を採るこ 歳は日郷の離園を策し或は東距共栗圏の路地域の日本に對する帰反 せん、最近のプーゲンビル前にギルバート階級方面に於ける **掘行して、日本本土に對する世間圏の彫刻を聞ることにも力めるで** 獣となうて居る世間太平洋師に中部太平洋方面よりする飛台作戦を「高項をる試験生滅の増殖戦後に関方国より大助威の機動戦を誤物と顕行するのでありませる。現在域、聴で決定した"蒙猟士の 先輩養養 反政するものは、如何なる原領に出るものであるかと言ふことは溝上程決定を見るととなった。右一 ある等と考へてゐるやうでありまして祝等の判断は何時も日本の歌 型の超重爆機に依り、這ちに日本本土の心臓能を備くことも可能で 行機が日本に比し催夢であるのみならず近く完成するB2のが かであります。尚此の外線略版、風想職、窟篋等凡ゆる手段を職じて る反攻にビルマ方前頭にアリューシャン方面の兵力増强等に激し明 生の心臓を断かんとするの作戦に出づるとを豫切せなければなりま りませう、又印形方面よりビルマの歌回を企圖する鳥めの反攻も歌 ありませう、頭にアリコーシャン方面より日本本土を観みこと 刀を聴説し整備に失する難小があります。右により近く特殊破等の 又彼徳の日本に對する判斷としては今の内ならば充分の自信があ 計上され資金、資材の三脳より 會首後別に類を十日の機能にて決め、後者米を関の際高を応見して今、原京館后)政府は十九年度一般、主席でする小規模土地成民事際は する性など十件の強調化を中心と の職成につき各省と折断中であつ。同してゐるが、近く総治地を撒く一定である 足する方針の下に強て大概省でモ 通常議會に 塩出する 法律案件 政府は十二月世日の 閣職で たが、九日中に一切の折頭! 會計策算版算は十一月廿六日の開 も順間に進み豫定面り來了作を決定、右に基く要

度施せられたる昭和十三年度 祝を見るに、國祖記審運動の

三倍を示せるに比し如何に朝間則間内地における増加額が の増加を見るに至ったことは

解認用力が影響して取力増展

り、その間割増金附定期資金して浮動資金の吸收運元を顕

る役割で担うて來たのである

確立に重大なる客則をなし得 の陰制を整へ大東距金側圏の

常関のボカ増弾の上に旗大な

回して、展別生産財総として

を新にして新時代に即隔する

概は事態、六点業歴史が説明

謝界は即に脱野を大にし機械であるのであるから、朝鮮発

協力し、企融機關を結束融合 て以死、同郷は政府の施策に

金融圏が新穂尼を見るに至う

何は自ら明かでありますが、我が國の邑軍将兵の鄭敬権職に依り四一揖米百萬石を目指す小衢池整蔵を とにも努力するとが彼時の常質手数であります、之に對する数策如 動しつ人める 土改事業視察

> た朝鮮の貯蓄目標額が本年度 而して右の如く昭和十三年

進の途上にある

朝鮮の十二億圓はまだまだ大

特異の新加策を實行し、貯蔵の財胎金の服化等率先して種々

共築圏において内鮮一種の光

放されてゐる。

置せる經濟力を以て満支と共

にその中核たるの健命酸々重

の増弱に絶大の努力を挑び比

度はこれを十二億國に引上げ の好成績を示した。更に本年 して來たが、周知の如く、各 五個、六個、九個と逐年増加 あった、硼砂目標領は三億・ に於ては、その目標額一

について見れば、本年度全國

の創設、壁図質数の融行、天が、最近温々その道大部は加

朝鮮銀行總裁 田中鐵三郎

服を始えるものである

に於てはその大東亜戦争に

し、開催に於ては狭腹形器

力を強けて貯蔵準公の赤城

時間も今年の大昭都取日を

あって、我々は然に一般の際 べ言質力を大に撤費すべきで

然しながら、これを納對觀

のであつて、和に心臓い水第

大東亞戰と朝鮮 金融界(下)

下盤なる地位が回復されつよある | がら世界の | 響察官の 如き態度をも なる微熱が否定されアジャ園気の「の観測を建く鬼部に処長してさな」 追を妨害し路に經路封鎖の暴撃を つて日本の正常なる民族的發展の

て『三大歌台國の一つ』として特一般でしたのは合製國の指導者であっぴに東亜における巨大なる日本の めた、すなはち一つは太平洋なら つの切取なる被測を得るに至らし 經験は米英炳國の指導者としてニ 大東距戦におけるこケ年有餘の 敗戦二年の二教訓 学問題者の一郎は開民を歌舞に高 條件は重慶政権の利用による大陸 ざるを得なかつた、かれらが太平 引するためにあらゆる衝策を罪せ んとする場合必要飲くべからざる 洋における日本人の反攻を照化せ

呼吸されるに至ったといへる。 かしながら一方大東西における現 略上の意味において米英側から

東西において頭取した交配と舞台

本の取力であることを消滅してゐ

その脚下に蹂躙せんとする非家な 同防衛の中福をなす日本を打倒す

ることによって全巣匪民族を再び 公割してゐる、これこそ大東

種膜を遂げつくある、殊に過酸の 図が相互の獨立を教室し、しから 雷時に比して全く革命司な難化と 大東亞登職で採捌された大東西

東亚の奴隷化策謀 我が痛打に焦躁の

うらいこうにい図にう目では、一つ意力をもつて審選した概念を嫌しかの解説はられた大宗服各國を取過しない以上ごれを米爽郷に敷きしる。また中國に記むて最も縁度は「戦力であり一つは一度米爽の経権 動場領印度など大東部の全地域はある、さらにビルマ・ブイリビン 酸せんがために支那事機の終始を | く給も水の低きにつくががく着然| 同気気は米英側のあらゆる非難と 族が何らの風制を出 から解放せられた大泉地各國各民 として一大圏線を送げんとしつく ある事質である。元深合衆國の國

力を戦戦せんとしてあるのである

談長部口井

に出てたならば少くとも大平洋な「ては事堂上来爽味噌の支配下に動」の生存上向ら木架的親家を持たね、カナることにおいて豊穣かり観覧側に対して質に不等が正なる総度(少くとも大見距離単の以前にあう)「民大衆にとっては今末の戦争はた。大鬼鹿共同の敵に関する跡帯に協 中間にも揺らず如何に大東語の名」ガイロ難数は微郷な期事上の打職 利と連設の理念を明示した大東距に悩みつゝある米突徹に對して勝 全東亞蹂躙の野望

日から、六日間北アフリカのカイ

ル冊介荷の三番は去る十一月世一

三統國の地位に町付けすべきと

國民に對しかくの加き戦闘を協め る。米英の指導者にしてアジャの

にペンの国際に止まらずアジャ各

た販度に出たことは不完にしてわ

を述べてゐる。カイロ自然の持つ

米英 婉図ならびに 軍隊政権を代

ミニュケは 三國共通の 職争目的

に行し信仰とに努めてある数であ

彼らが、世界に向うて、公安したコーを直接の目標としてゐる點と意思

止めることの不可能なる自然器に

高い 左の如き談話を行つた

重慶へ媚態を盡す

来、東自身は自らの世界順副の非國を結解する結果となったと略級。一、日本の打断を協議したにも振ら

了日本にようて解放せられた大東距離民族に對する超微については何格響れなかつをがこれはまづ日

に成功すれば富然の顕純としてこれら大東原藩民族を征削通り米英の歌歌下に改奏する

とが出來ると

「たこと、一、しかも未典は困難にしてかっ

是別にわたる

当日級事に於てその

版争の

ではと奥嶽とを東西民族の一である軍隊に勢して顔楽し時相食む東西民族の相関によってその東西部

と野蝎を環成せんと企画しつゝあることの二戯を頭刷、米英の東亞再使制の野蝎、優勝性を崩壊に

代表にようて十一月二十二日から六日間にわたうて石はれたカイロ寮販を取上げこの會談は勝利と延

カイロ會談と米英の野望

配の理論を明示した大泉型共同放射が欧側に関へを一種の技能に過ぎず、そのコンミニュケにようて 【東京戦略】井口昭泰局第三部長は九日午前十一時三十分内外和者願と會見、寒米ならびに重勝三國

式であるにせよ、重爆政権をもつのを見た、例へそれが政略上の形

要するルーズベルト、テャー・チーは一個土の製取とによって日本を長くとして日本の無條件除状と日本の

辻添く是を観定し、重要なる短線を確保し、顧暇上必勝不晩の駆撃。 武勝の戦より億大なる駄果を收め、既に大東市に於ける戦略上の襲撃。 を確立したのであります。而已ならず古領地域の經常宜しきを得、 之を利用し得るといふことは非常な興味であります。頭に蛮敵に就 りぶすが、女子は未だ懺用せられず、男子の演集学も最も少いので に於て最も除裕ある國であると云ふことは先にも一寸述べた所であ 既に駆争の勝敗を左右する魏であります。我國は交職國中人的資源 ます、今日人的、物的資源に於て大いに保給があると云ふことは、 **した以上、必を戦力化することは単に時間の問題であります** て申さば、戦節の『持たさる國』が一躍して『持てる國』となり あります。「伽この上に大東龍十〇版衆を結集し得ました今日に

精神力に加ふるに數量

一壁でありますが、勿論可能であります、歯局時の問題に踊するので が出來るとしたならば、今日の設備を以てしても、資ほ爲う言信の一 こと歌も疑なき所であります、潜し夫れ現在の縁略を打開すること **酚酢等の主要是器、質材の生産の敷養に於て不士分なる数は罷に映だおいては衰國は鱖然廟を凌駕して居りますが、遺骸ながら飛行機** はず、協力一致強励努力するならば必らずや其の目的を選成し得る 館に之に要する資材の飛躍的大増産に對する大なる手を打つたので ひまじたならば難じ趣に金裾で、最後の勝利に一點の親ひなき所 てあるのでありますから、精神力と戦闘との上に数量を加へ三番 あります、惟ふに直接をると、間接たると、官たると民たるとを問 を確立し、機構を吹遠し、緊需省、運輸通信省所を新設し、特に飛行機 あります、然らば我國は現在以上の生産項頭不可能なりや否やの間 點と申さなければなりません。今日に於てさ八蘇々たる厭異を駆け 概々過去二年に真る敵績を回際致しますならば、精神力と破骸

中島の立場に於て注意を要する一、一の點を申し述べたいと思ふの 策以一般に限別たるものあることを認めるのでありますが、新の如 る問題手段であります。これ等数側の策励に訴ぜらるメことありと 方法に依り宣傳を試み駅略を試み、或は思想攻勢を試みることは事 備も全く用を爲さぬのであります。而して此の脈意は必勝の信念を るのでありますが、何よりも大切なものは聴意の、応揚であります 必勝の信念といる問題も自ら解決せられたと思ふのでありますが、 之に對する對策に就て簡単ながら要點を申述べたのでありますから であります。大東距散争以丞 牛島一般の眼粒は腕る 暗揚级しまし **専は副性を有すること勿顧であります。 従て雇ちにごを信ずる事の** 堅持することに依り温々周揚せらるくのであります。極側の競表宣 して、第一載
禁の賠捌。第二增養、第三防衛といる
事を申し述べて
あ すれば、是以防の信息なく、、収意の昂揚を映くところより生ずるの き 環境に於て (
映成せられたる 半層 比丁酸に
風徒を
軍隊に
迎へる
とは

能率を疑揮することが出來るといふことを聞くのであります。我朝

ても大なる関心を操はれんとを希望して日まざる次第であります 民間宗者並に顕化方面の一大意識を要するは勿論。一般信民におい 飛行機工築並にこれに開聯する瓢金騰工業は比較的遅れてをります 新設して立脈な陣容を整備せられたことは御同盟の至りであります 職所敬能に於ても中央の施策に順極して機構を政策せられ職工局を 何を措いても敢闘精神

以上続くところにより、敵米英の織反攻の如何なるものか、動に 以て軍隊の教育に協力せられんことを希望に耐へざる所であります

せん。何處の市際に入盤致しましても内航金く同様の収扱脳に教育 のであります。重験に馴れない、内は多少の苦痛を威するとが有りま で観音するのでありまして、従來難しも此の如き敬音を受け立振な のがありますが、最時は従來は成優なる生活に馴れたるもの又はそ 数中から騒ぶの演奏等の結果解除生活を載ひ終に建じの罪を犯すも せつが、個内に於では恰かも一家の子弟を獲得ず を受けることは勿論でありまして、時間上優接暇場に必要なる要賞 意理人の家族中國家としての特別の恩典に治するものもありますが だして家庭の説情に浴する能はざるものであります。出征又は「 はが職種はの親戚先輩等においても出征人懲甲人をして後期の概なことであり双手を駆けて賛成するので応りますが、本人で

ることは微多事例の元す所であります 第であります、遵し訓練の問勁により著しく主災率を制限防止し得 の完璧を期すると共に、一般大衆の明空脈線を駆放して止まさるが き一言致します。北方観測の重任を得する朝鮮が鮮蘇園境の謝冊を 之を要するに必勝の大道は明かであります、酷りに劉觀するも不

動いるとこそ鍼後國民の勝ち抜く道であると信ずる次第であります 際となり鰯石の脳線を緊め必勝の信息を堅持して緩力戦力の増弱に 町なるが如く強りに影響するも勝であります、宜しく単官民員に一

|得」青山等和電(岩土) 他教報・「精治開影と闘るため殺骸形ではす。」をなすためえ、十つ帰日名気印料||労団置行(京徳) 雅政雅長(藤 | 陸東推断に軍大作用を及す[散却の] 二百から明年七月送の凝肥の郷電(江原) 段階局長、耕地県山口 | | ||欧洲推断に軍大作用を及す[散却の] 二百から明年七月送の凝肥の郷電 (慶北) 魔樂資料課伊東技師(成一地) 耕地課某鄉技師 北)耕地課某鄉技師

後を織り丘敷を倒離すれば では、電影ので行はれ、 関係を はなばならぬ。日間日曜の

に立った無常の感謝を想起せ 駅然 として米爽打倒の を▲大東南戦争には、戦争と航後 た▲大東南戦争には、戦争と航後 の区別がない。兵と関氏と歩ーフ になって戦みのである。飛行撃を、 戦力を、作るもの、極速するもの、

関ゆるのである。年間経験界 むる軍大なる役割を自覚し と個大なる既果とに血調くを しめる。近ぐは父プーゲンピ 生の烈々たる質問 ようて揃うたし、居らな遺跡は鬼魔に とうて揃うた。しかし今日は一切 をあげて原理が真嫌してある▲頭 かも、足がも、実かも、乗組も、関西 の手で作うてあるのだ。そのよい つでも、総徴き、から、を動き、 國民はそれを買ふ金を負機すれば しなつて飛び出す用顔も出來てあ

な原則して遺憾なからしめ、 ことを要心より聞うて日来の

に獲身し、 作って、岸 大きな一

二十五日現在)

町が持ち、 ・ では、 、 では、

もとに至城華公の一般を以て 今日、墨図の郷臓、東亜の座 れたが、我々は一昨年の今月 翻跳起運動が頭力に展開せら

重役陣刷新

機が上にも取力を増削することは 他人の高めにするのではない▲明 日にも氏に召されたら、自分の手

一十五日現在)

役員の闘新を断行して常務取締役 加藤五十三氏が趾長に昇進、その一 **佐任に不場頭端所長西田駿市丘が** だ▲総督はまた。その 特でと脱いてある。そ

を極めつゝあるかを全世界に闡明一度ないのである。しかもこれによ

の正能を暴騰する結果となつ

し、日本を永久に三流國として

朝鮮無種族では過数の高音で同乱

| 対域では対象 | 大きな |

朝無煙事業擴大

は大児龍に対する米英の働くこと カイロ強談に示された米英の意圖

を知らぬ侵略の野心でありこれを

大北火災海上運送保險株式會社

一种 17 1 上 火 災 保 險 株式 Y 社

海上火災保險株式會社

辰 馬 齊 上 火 災 保 險 株式會社 吳敬縣照第中本町為為如鄉地

合併契約ノ要旨

増産推進へ拍

日 上何ら終うてゐるかゐないかを知 はなばならぬ。日清日命の慰事は、 関心とがある。日清日命の慰事は、 ▲我々は、徹野の形式が智と現在 を勝たす 4 木

はいふ。これが「制力戦

学 (1985年) (1

川十五日原本)

朝が

『甲、乙、丙及丁ノ台併ニ因リ股ロスペキ戊ノ目的、胸腺、雌本ノ甲、乙、丙及丁ハ解液シテ新二戊ヲ酸立ス 間內金拾凱園五拾鐵排込潛株式黃治茶 和國際學科機以常情太優

下殿王女子智美宮陽賀

陽宮信服王殿下の第一王女

響れは高

天晴れお目出度う

が用の氣魄に燃えて破骸の答辞

ライナー日か | 留感域にようて同校で駅行された。 第一戦を飛は、 豊が穀職員、先端、永瀬錦舎をる騒









には国産の財産を対します。には国産の財産を対します。権利知品にの定義を対します。権利知品にのには、関係の対象を対します。

一、耐労人 京城工作所大坂出張 の プロフ和番を利用を入 京城工作所 實行目 昭和十八年八月十八

運搬界に奉仕 (企業許三年要)

文化木炭酸調明與新用數位的表別的

● 新東公司 新東公司 専門却・在庫豊富-

慰問用品と玩具

特約店求ム 企業許可・資金不要

のどがふくれる。目が突出する胸氣
 田狀腺の強害です
 本留其大はきれますが中でも単の分類や神になるする
 本留其大はきれますが中でも単の分類や神になるする
 本留其大はきれますが中でも単の分類や神になるする
 本留其大はきれますが中でも単の分類や神になるする
 本留其大はきれますが中でも単の分類や神になる。
 本留其大はきれますが中でも単の分類や神になる。
 本留其大にはされますが中でも単の分類や神になって、
 本留する。
 本日は、
 本日は、

ハセドー氏病 樂門專

無代進星ス(パセドゥ氏病交獻)

中和ベントナイト商會工場際議員

14

主 御 方(紅癬/卵)

代用金庫(新聞金庫)

一覧がある。

年末の生活心得

一人とも世紀の日の 殿殿を かんと五路間・野がわるすがに郷 のは輝く電ませ、郷天棟の版語 いて殿師の言葉のない、傍でこの りと群へてゐた。 歴紀世対が、光線を見てゐた和井さんが

昭型大年三月1日 2 か指 化1 (1855) 大分死亡致候用此段離古化り候別娘中の處 養生不相叶 本月午前二時四院加娘中の處 養生不相叶 本月午前二時四次體結議像而病氣の爲 京城帝大病院に 入交體格議像の病氣の爲 京城帝大病院に 入

地域 () 是 (

黄海 道。除,平安衛北道。除,

電輪は従来のリヤカー車体職付簡易

滑石。粉末

朝鮮服の中から一枚の小切手を取

出合はした 内鮮二人の献金同志

から

朝鮮總督府指示済 愛**國リヤカー並 車輪** 堅固軽快價格抵康

迫る寒氣を時々小さな足

大吉の日

一發必中

危ふく冷凍の乗員に武士の情

殿つたのか強潜水艦はほとんと

「水の 格」 そのまへの ぞとなつ

は三つ四つ戦器な命取りの大穴が

ラ電網

大大阪所用画 展示小は中央所 大大阪所用画 展示人は 大大阪所用画 展示人は 一大大阪所用画 展示人 「一大大阪所用画」展示人 「一大大阪所用画」

電力機策の一翼として戦力坩堝に副ひ奉り度と存候間何卒御愛娟を設立致し一般電氣工事の 請負及附需事業を經營する事と相成りを設立致し一般電氣工事の 請負及附需事業を經營する事と相成り經營を期し今回交連局及京城電氣株式會社指定電氣工事業者を 統時局の進展に鑑み企業整備の 國策に順繳して電氣工事業の合理的時局の進展に鑑み企業整備の 國策に順繳して電氣工事業の合理的

御用命を賜り度此段奉順候

京城府中區南山町三丁目十一番地、(京城ホテル跡) 城電氣工業株式會社

微地の一途を辿る傾向にあり

〜協力望む

関力を要望した。 龍山署長は語る

施に派出所に適して最川電長が一種で変彩し施戦した 一種で変彩し施戦した の罪酸暴】察漢忠、安東正光~

と、例析は椰子並木の盛を出て と、例析は椰子並木の盛を出て と、例析は椰子並木の盛を出て

へ『えヴ、何とが何有いましたが、一般さらとしながら、ヘルメットの

解析は、一生間 命落着ををとり

温本)

海野十三(作)

表彰金を献納

をそへて九日朝鮮福等機能を妨 れ平井大阪を通じて個防秘金、 一同をあつく感動をしめた【鬼 に関するので、

神宮大麻」奉祀運動

た。 は、 何苦の定めに傷害りさらになど、 いってで、 型の織を増えてゐるもでのの、彼の如誠に、 小さい口に、 でしたかねえ。 のの、彼の如誠に、 小さい口に、 でしたかねえ。 のの、彼の如誠に、 小さい口に、 でしたかねえ。 ののの、彼の如誠に、 小さい口に、 でしたかねえ。 ののの、彼の如誠に、 かさいこと。 ののの、彼の如誠に、 かさいこと。 ののの、彼の如誠に、 かさいこと。 ののの、彼の如誠に、 のうに、 でいまの戦を増えてゐる。

舗向

院 京城黃金町四 大二田四 大二田四 大二田四

九日より十三日まで 1※刷「共學園風物符」 1※刷「共學園風物符」

場劇洋東

9イプ印書専門

| **明 祭 喧 嘩 幸** | **一 ユーフ** | 九日 | 十二日 | 11日 | 11日

人

長七

かためには「神宮大麻」を新

しく室記せねばなりません

大脈室配準動も十二月質鏡

紹介所長、府理事官保荷難氏が就

帆村の目は、彼女の 節れの 鶴

医る七月、〇〇から飛行場用紫陽 | 品生蔵を開始、郷先頭殿の趾長以

| 関係数にした他的―― 真原中區域 | 足器製作の外級と続する姿勢に成った。 天を凝した結果。 堕か一ヶ月餘での火甕を切つて落し、細心鯛窓工 下を夏が戦隊の兵器を遭り皇間の 概定と夜を繋についで駒汁淋漓、 な目信を懲得した同所では喧心態 を許古な協議なもので学時工語外。 した同社では同金額に金五日間が入、その上生面技術も待りです。 一覧を奏彰されたが、之に施源が入、その上生面技術も待りです。 しょ変生表報よりの最繁なりと金に対入すべき数額の一面低き網。 した同社では同公額に金五日間

赤誠部隊·長蛇

時から京城神社で大陸頒布

せられた示威こもれる献金の花束 昭を撃滅した昭和十六年十二月八 観路三ノー七九、西原落治氏は大 鍾路署にも

汗の結晶献金

誠信女學校陸海軍へ

國百人一首)司(富士山) 孫在鉴國百人一首)司(富士山) 孫在鉴

(風前笛) 吳一英(防人之歌) (風前笛) 吳一英(防人之歌)

事件の謎をして、戸

を開き豊気の作品を一

大泉亜酸線二層年配念日の八日を

| 一| 高級長が本計を訪れ概念等節した| 一| 高級長が本計を訪れ、九日同核障性時 | 一| | 日年を記念、九日同核障性時 | 一| | 日本・一| | 日本・一| | 日本・一| | 日本・一

家庭の躾々などを列駆し母の

決戰下の衣食住

撃ちてし止まむ展がら

既的合理化と配給公正館に消費却

篇員動總人婦

人ののが、一般時下勝

大生活 安郷が戦時下大 のな資材と東大

全婦人の頭の切替

乗す役割は大きい。

数へてゐる。新聞を見合せて死以 量は直接取力の消耗であることを な勢力によって作られ、衣物の荷

|用すること終路レく闘示してゐる ふ石鹸はなるべく倒はず深汁を固 する、 売職の際に火薬の原料を庭

食生活(食糧地産のため

治脳では関臣頭兵を肯成する母











戦を腐臭で展示、古らに腐臭で米

既生産陣の婦人造出を見ればあの





が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜその略人の際に が、それがなぜをのいる。









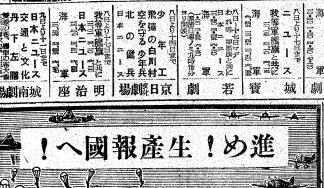


和式	個シープ	That:	- KP (II. 1	原が行うが
武田薬品	町ノ岩湾	1月装	監整 に に に に に に に に に に に に に	八二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
	田薬品監	田 変と日 の で に で に で に で の に で の に で の に の の に に の に に に に に に に に に に に に に	田 整線を上 大 田 東京 大 田 東京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	明した。 一世の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の













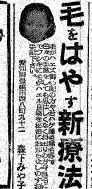
闘現



半生病 泌尿器外科 医学说:

白島鵜日

きは



阿奥 一年 西 河 川 四 四









與南金屬工場**工員大募集**

上候也 今般左記へ營業所移轉致候間此段御連知中 祀

瀰 國語普及教本 一、應 一、就 業 種 地 員

頭・風見空子 座日朝 |館畵映信和| 答式都是玩說問題事 教員試驗準備書 提出書類

館花浪館樂喜場劇花桃 座富新

德ス

要望した一般当民の協力を

今年こそは明るい年末を至らう一部派事別の後生を未然に防止し

職あらゆる物質の大手艦による 野競生の原、年末における各犯額の競生は勿, 暴利、賢請、

師

走の犯罪撲滅

京畿道岡警察部長語る

第一放送朝せて

第二放送 夜 4六・五

では、 一覧では、 では、 一覧では、 一定では、 一では、 一では

歌謡 3 歌話

京 B

北通地の健身隊のクラスス

10-92 三・52 = 50 4-25 | 10-92 | 三・50 = 50 = 50 = 50 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50 | 10 = 50

謹

告

公社債

得だのである、然るに以今申

であらう「分類者がほかの地上等数者には合語に於て」したのであるが、斯くの如くから目のや

のる。食棚の配給はよくなかつた。他つ

軍隊式に命令を徹底化

わけにはゆかぬ、不幸なこと

鵬翼を連らわ印度の敵反攻基地に殺到する陸鷲

言語道斷の敵米英

松村大本營陸軍報道部長獅子吼

を適べてある 「は我に韓三米職会して非薄重い類」と悲歌化さんとするか、使のの不「指理するギルバート記載はどうかのの足を押すと同時に基地「昨年八月の反攻呼鳴以を使らは第一覧とを未成の指摘する國域に何ん」いふごとである。 またニミツツのかにまたますり、 すしょく

バイト増産に拍車

うたといふに たほぼのは土 たほどのは土

の語が記述の

笑止、浮ぶ基地 米、尚も白々しい頬彼り

大作戦を行ふに 大作戦を行ふに の全地層において の全地層において の全地層において のを地層において である、キェフ語でも戦場は漢

レメンチューグ 下六度である 下六度である

中等學校入學考查 文部省、決戰措置を採用

200歳ほと隣界 同国の数にに関いて、同気が、

補給し祭養と活力を充實 疲勞を恢復し衰耗を整腸作用と相俟つて

胃腸弧化

阿原國民教育局長談

新じて含る操作 でにおける時間 でにおける時間 東京和二級生しの最本連続は極いた、外域の遊技

で選拔し、阪民

を行ふくるいど いある脳校長の

12.

腹痛に 胃弱に









協

LION

を 撃い方であら なの 脱着を

へないのに編 えの学語いれ えの学語いれ

なりない。

极 傷めず 7

縺

が脚質と 香味佳快

身體を配合には要にからいる。

意注らか盟聯

況

松梢風(作)

芋島延專校長の感激

學徒よ祈るぞ、甲種合格

にその榮養と美味を終る里芋餅が

晴の首途へ軍國の母が餞け

【雑】前】目ではブ

カラブをかくゆる密度 ラブをかくゆる密度 シンマーを対し、 グール・ グール・ グール・ グール・ がランマーを があった。 がリール・ があった。 がリール・ があった。 がりのいのの があた。 がりのいののがあるにかりのがあるにかりのがあるにかりのがあるにかりのがあるにかりのがある。 がは、 横口紫陽子 城の横口紫陽子 はの横口紫陽子

多算清

「興代士1日後一度生 大和町夏瀬寺に於て 長切 古琴界館を拜謝し此段御通知申上候中本日午前十一時 死去仕候間生前中の父茂太郎儀鎌で 病氣加療中の處 養生不

語が可能

店商惠清海区

町 治明 城 京

爲

2

は世代で協兵ら帰っ

合質會並

關

て上海する、原作では関係のでは、原語を演開では関する自決戦下に関する自決戦下に関する自決戦下に関する自決戦下に関する自

往時直進組



大の身とはなりたれりであいになく、さりりではなりたれりであります。 大三島脚県へ参照総数大三島脚県へ参照総数大三島脚県へ参照総数で、小脚拱に立った。 大三島脚県へ参照総数で、海滑るので、海滑るので、小脚拱に立った。 大田島地の間になり、大方側なり 関機**查調**。國全 信 元易 智緒 用信 童管

「所支城京所信與國而 例面亦亦二一四島總。三一町將開城京 総十七閏全所支 京東並本

謝源近

御

松丽火

間反で御座りませ し人に包む妾の氏」 ・魔き担つ恐りを るそなたは雌人ぢ あるつてもなた 医婴博士 公 炳 禹 ... 京城鐘路一丁目(會大4006番)

謝

京城村 人

志 岐 信

信

太

郎

心がいはせぬか』 学を強へて、 撒へられたのでこ |偏(書) が思る語ることで 産婦人科 票 医学博士 計 森川益夫

勿體ない!

朝鮮美術GDI電所旗部 美術GDI電所旗部 美術GDI電所旗部

柄以ての外です。 酔拂ふなんて時局

んといる

ニツボンブランテー

謝出火御見舞

同 校父兄後 爱 早 日之出公立國民學校

田附株式會社京城支店

を 一番 事 京城 支店 では、 一番 事 京城 に 第11 ニール 乗地 京城 に 第11 ニール 乗地

謝近火角見舞

酒

謝

京近

火

居居見舞 量即

Ħ,

翠場

短品本局の一

謝近火御見舞